

## 4. トラブルとその対応事例

### 4-1. 発生が想定される軽微なトラブル事例

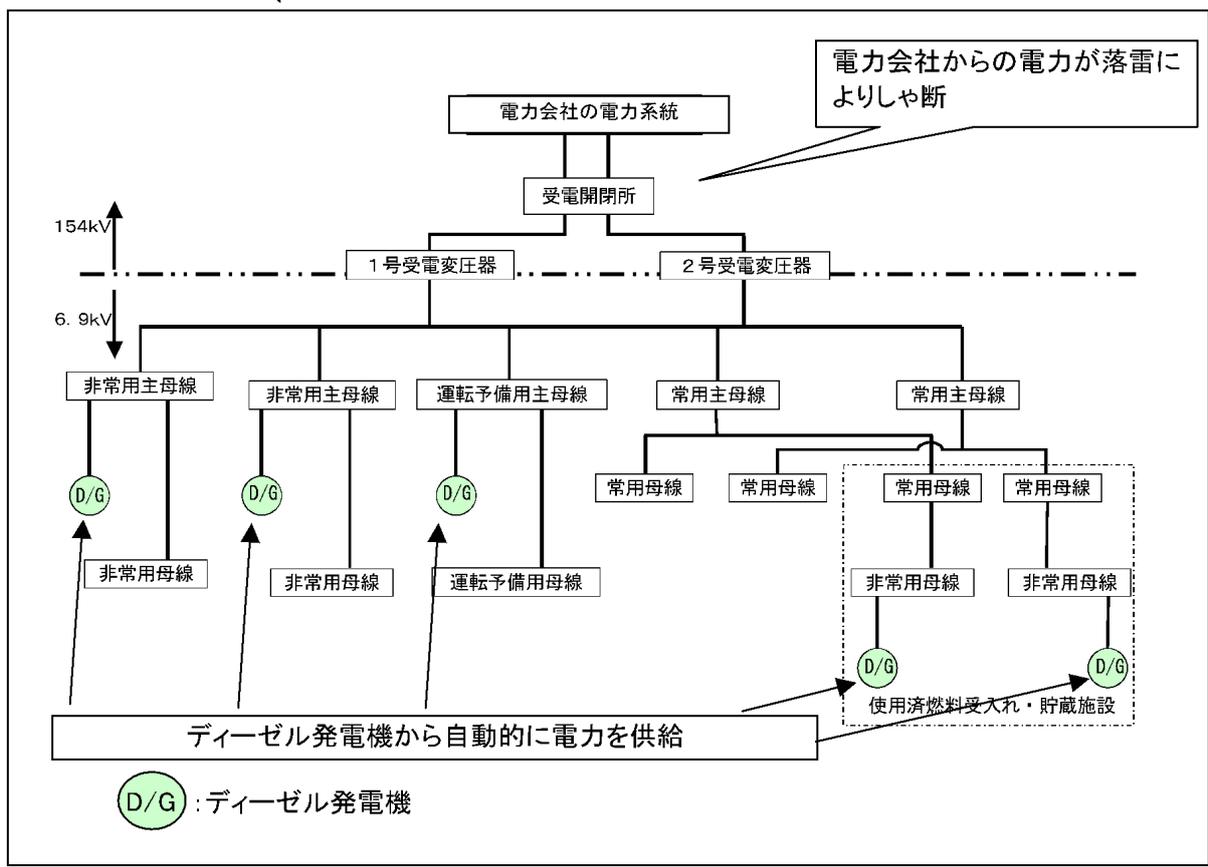
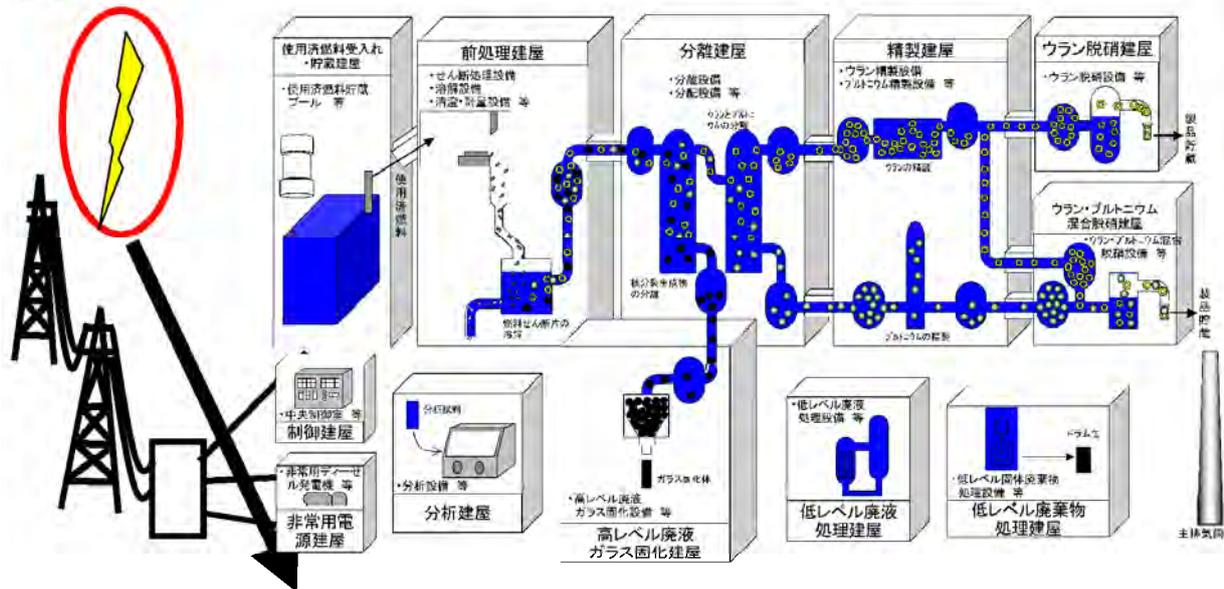
#### 事象分類別 (e. 電源系の異常)

#### 5-04. 受電開閉設備（電気設備）における落雷による外部電源の喪失

<p>事象の概要</p> <p>(1)発生場所：機器</p> <p>(2)設備の概要</p> <p>(3)発生の状況</p> <p>(4)概要</p> <p>(5)原因</p>	<p>開閉所：受電開閉設備（電気設備）</p> <p>電力会社の送電線から再処理工場で通常使用する電源を供給する設備。</p> <p>受電開閉設備の運転中</p> <p>送電線（電力会社の系統）への落雷による外部電源（電力会社からの受電）のしゃ断。</p> <p>落雷。</p>												
<p>事象による影響</p> <p>(1)工場外への影響</p> <p>(2)安全性への影響</p> <p>(3)作業員への影響</p> <p>(4)他工程への影響</p>	<p><b>工場外への影響は生じない。</b> 外部電源喪失時、各施設の閉じ込めに必要な換気設備は、非常用ディーゼル発電機および運転予備用ディーゼル発電機等から自動的に電源が供給されることから、放射性物質放出等の工場外への影響は生じない。</p> <p><b>安全上の問題は生じない。</b> 外部電源喪失時、各施設の閉じ込めに必要な換気設備は、非常用ディーゼル発電機および運転予備用ディーゼル発電機等から自動的に電源が供給される。また、再処理施設の安全上重要な施設は、自動的に安全側へ移行されることから、安全上の問題は生じない。</p> <p><b>作業員への影響は生じない。</b> 外部電源喪失時、各施設の閉じ込めに必要な換気設備および安全上重要な設備へは、非常用ディーゼル発電機および運転予備用ディーゼル発電機等から自動的に電源が供給され、施設を安全側へ移行させることから、作業員への影響は生じない。</p> <p><b>他工程への影響は生じない。</b> 外部電源喪失に伴い、非常用および運転予備用電源を必要とする施設へは、自動的に非常用ディーゼル発電機および運転予備用ディーゼル発電機等から電源が供給され安全側へ移行するため、他工程への影響は生じない。</p>												
<p>対応の概要</p>	<p>1. 6.9 k Vの非常用の母線が停電した場合には、非常用ディーゼル発電機等を起動し、その電圧および周波数が定格値に到達後、それぞれの母線に接続し給電する。</p> <p>2. 外部電源回復後、異常のないことを確認し定められた操作手順に従い、それぞれの設備を元の状態に戻す。</p>												
<p>公表区分</p>	<p>翌平日に公表（ホームページへ掲載）</p>												
<p>連絡区分*</p>	<table border="1" style="width: 100%; text-align: center;"> <thead> <tr> <th colspan="3">トラブル情報</th> <th colspan="3">運転情報</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td style="width: 33%;">A 情報</td> <td style="width: 33%; background-color: #e0ffe0;">B 情報</td> <td style="width: 33%;">C 情報</td> <td style="width: 33%;">ごく軽度な機器故障</td> <td style="width: 33%;">清掃・調整等で復旧可能な機器停止等</td> <td style="width: 33%;">不適合等</td> </tr> </tbody> </table>	トラブル情報			運転情報			A 情報	B 情報	C 情報	ごく軽度な機器故障	清掃・調整等で復旧可能な機器停止等	不適合等
トラブル情報			運転情報										
A 情報	B 情報	C 情報	ごく軽度な機器故障	清掃・調整等で復旧可能な機器停止等	不適合等								

\*：『A情報』：安全協定報告事象等、または、それに準ずる事象、『B情報』：事象の進展または状況の変化によっては、安全協定報告対象になるおそれのある事象等、『C情報』：A、B情報に該当しない軽度な不具合、汚染等、特に連絡を要する事象

# 事象概要



**復旧方法**

定められた操作手順に従い復旧操作をして復旧

